

### 第3学年国語科学習指導案

日 時 平成15年10月10日(金)

場 所 釜石市立大平中学校3年A組教室

対象者 3年A組(男20名女14名計34名)

授業者 教諭 今野満江

1 単元名 四 状況に生きる 人間の生きる姿をとらえよう 『故郷』 魯迅

2 教材について

#### (1) 教材観

本教材は「人間の生きる姿をとらえよう」という単元の中にある作品である。この単元は小説、随筆、詩の三つの作品からなっており、状況と真摯に向かい合う人間の姿が共通して描かれている。

そのうち、「故郷」は社会や国家のあり方を問題にした作品である。広い視野を持ち、骨太の作品である「故郷」を学習することは、中学3年生の文学教材学習としてたいへん意義が深いといえる。二十年ぶりの帰郷という出来事の中で、希望から失望へ、失望から絶望へ、そして、絶望から新たな希望へと変化していく作者の心情はもちろん、失望や絶望を生み出した当時の社会から目をそらさず、一步でも前進していこうとする人間の姿をとらえ、さらに「連帯することこそ希望の実現への道だ」という作者の強い訴えを主題としてとらえさせたい。

#### (2) 生徒観

非常に落ち着いた学習態度であり、発言こそ少ないが、どんな課題であってもきちんと取り組む生徒である。4月のNRT検査では、「話すこと」「書くこと」が全国に比べてよくなかった。「読むこと」については、心情・情景の読み取りだけが落ち込んでいる。生徒は小説を読むことは比較的好きだが、そこから心情や情景を読み味わったり、主題に迫ったりしようとする意欲はあまり感じられない。しかし、本教材の1時間目に「なぜ魯迅はこの作品を書いたのか」について予想をしており、自分の予想と比較させることで小説を読み解く、深く読むことのおもしろさを感じさせたい。

#### (3) 指導観

主題を考えることは文章を理解するための基本的な事項の一つである。叙述に即して展開をおさえながら、書き手の思考や心情に迫ることで、読み手としての立場で自分の意見をもつことにつながり、それが生徒の豊かな考え方や心情が養われていく基礎となっていくはずである。そのため、骨太の本教材をじっくりと学習することで、「文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ」力を是非つけさせたいと考えた。

しかし、以前は本教材だけで8～10時間ほどかけることができたが、指導書では、「二つの悲しみ」「お辞儀するひと」と合わせて5時間という時間設定になっている。当然、今までのように場面ごとの情景描写や心情表現に詳しく立ち止まって授業を進めて

いくことは無理になった。作者の意図した主題により効果的に迫るためには、指導の重点を明確にし、主題に迫るための学習課題を精選していかなければならない。大目標は作品の主題や作者の思いをとらえることであり、そこにつながるキーワードを整理させていくことによって、より効果的に主題に迫っていきたい。主題に迫る場面では、生徒同士で話し合いをさせることで、「深め合い」と「気づき」を大事にし、より「わかった」という実感を持たせたいと考えている。

### 3 教材の指導目標

- (1) 作品の背景にある当時の中国の社会状況に関心を持たせ、それと結びつけて作品を読ませる。
- (2) 風景や人物の描写に着目させて読ませ、登場人物の変容や生き方を「わたし」がどう感じたのかを読み取らせる。
- (3) 作品の主題や作者魯迅の思いをとらえさせ、社会のあり方や人間の生き方について考えを深めさせる。

### 4 指導計画・・・4時間扱い

- (1) 魯迅の生きた時代の中国について、資料を基にまとめてから「故郷」を通読し、内容を場面に分けて整理する。(1時間)
- (2) 「ルントウ」に象徴される美しい故郷と現実の故郷との落差を風景や人物の描写に着目して読み取る。(1時間)
- (3) 「ヤンおばさん」と「ルントウ」の変容をとらえ、その背景にある社会状況を読み取る。(1時間)
- (4) 故郷を離れる時の「わたし」の心情を読み取り、「新しい生活」「手製の偶像」「希望」の内容や意味を考えながら主題をとらえる。(1時間)

### 5 本時について

#### (1) 本時の目標

- ・ 「新しい生活」の内容や意味を考えることができる。
- ・ 「手製の偶像」「ドキッとした」「歩く人が多くなればそれが道になるのだ」のキーワードをもとにしなが、主題について考えることができる。
- ・ 「故郷」の主題をとらえることができる。

(2) 指導過程

	学習内容	指導・支援・留意点	評価の観点・資料
導入 5分	<p>1 前時の内容を想起する。 「ヤンおばさん」と「ルントウ」について失望した「わたし」の気持ちを確認する</p> <p>2 本時の学習課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「わたし」の希望はどうすれば実現できるのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・故郷の人々に失望し、さらに絶望感まで感じていた「わたし」の気持ちを想起させる。</li> <li>・前時と対極にある希望について考えることを確認するだけでなく、課題に向かうための手順も把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業で何を学習するのかを把握できたか。(観察・ワークシート)</li> </ul>
展開 40分	<p>3 「わたし」が希望を考えるきっかけをとらえる。</p> <p>4 「新しい生活」とはどんな生活かを読み取る。</p> <p>5 希望を考えた時に、「どきっとした」のはなぜかについて、自分の考えをまとめる。</p> <p>6 希望を考えた時に、「どきっとした」のはなぜかについて、グループごとに話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「若い世代」に着目させ、希望を見い出していく「わたし」の気持ちをとらえる。</li> <li>・ワークシートに記入してきた三つの生活について、前時の内容を想起させながら具体的にイメージさせる。</li> <li>・考えの根拠になった語句を押さえさせる。</li> <li>・話し合いのリーダーには事前に指導をしておく。</li> <li>・ワークシートを手がかりにして話し合いのメモを取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「若い世代」とは誰のことをさすのかがわかったか。(観察・ワークシート)</li> <li>・三人に代表される生活を指摘できているか。(ワークシート)</li> <li>・「新しい生活」がどんな生活なのかをまとめることができたか。(観察・ワークシート)</li> <li>・根拠になる語句をもとに自分の考えをまとめることができたか。(ワークシート)</li> <li>・話し合いの手立てとなるキーワードを見つけたことができたか。(観察・ワークシート)</li> </ul>

<p>展 開 40 分</p>	<p>7 グループでの話し合いを基にして、どうしたら希望が実現できるのかを個人でまとめる。</p> <p>8 各自が書いた主題を発表し、考えを深め合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取りのヒントを準備しておき、グループの話し合いの進行状況を見ながら援助していく。</li> <li>・ワークシートに主題をまとめさせ、発表させる。</li> <li>・まとめられない生徒に対しては書き出しのヒントを出すなどの援助を行う。</li> <li>・ワークシートに、自分が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで話し合いに参加しようとしているか。(観察・ワークシート・自己評価表)</li> <li>・話し合った内容をまとめて書くことができたか。(ワークシート・発表)</li> <li>・他の人の発表を聞き、自分にはない表現をメモしているか。(ワークシート・観察)</li> <li>・「故郷」の主題をとらえているか。(ワークシート・観察)</li> </ul>
<p>終 末 5 分</p>	<p>9 自己評価カードを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組みのほかに、主題についての感想を書く欄を設けておき、率直な感想を残させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価に書き込み、主題についての感想を書いているか。(自己評価)</li> </ul>

(3) 評価

- ・「新しい生活」の内容や意味を考えることができたか。
- ・「手製の偶像」「ドキッとした」「歩く人が多くなればそれが道になるのだ」のキーワードをもとにしながら、主題について考えることができたか。
- ・「故郷」の主題をとらえることができたか。

<p>単元の評価規準</p> <p>本単元のねらい 風景や人物の描写を味わいながら、作品の主題や作者の思いに迫るとともに、作品の背景にある時代の状況を理解し、現在をどう生きるかを考えるきっかけとする。</p>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章や作品を読んで、自分のものの見方や考え方を深めようとする。</li> <li>広く材料を集め、自分の考えが効果的に伝わるよう、書き方を工夫しようとする。</li> <li>聞き手の心をとらえるスピーチとなるよう、話し方を工夫しようとする。</li> </ul> <p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて話したり聞いたりする。</li> <li>話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞いたりする。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題を設定し、それを解決するために必要な材料を集めて、自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして展開を工夫して書く。</li> <li>自分の立場と伝えたい事実や事柄を明確にし、文章の形態に応じて適切な構成を工夫して書く。</li> <li>書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にする。</li> </ul> <p><b>【読むこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の仕方や文章の特徴に注意して読み、筆者の表現をとらえる。</li> <li>文章を読んで、人間・社会などについて考え、そこから自分の意見をもつ。</li> <li>目的に応じてさまざまな文章を読み、自分の表現に役立てる。</li> </ul> <p><b>【言語事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手や目的に応じて、話や文章の形態、展開の違いがあることに気づく。</li> </ul>				
<p>教材の評価規準</p>	<p>評価場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を通読して構造をとらえる場面 (発言・ノート)</li> </ul>	<p>具体的評価目標</p> <p>関① 魯迅の生きた時代の中国について、資料をもとにまとめる。 読① 『故郷』を通読し、内容を場面に分けて整理する。 (1時間目)</p>	<p>十分満足できる (A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提示された資料をもとに、当時の中国の生活についてと魯迅の生涯について興味を持ってまとめ、教師の解説を的確にメモしている。</li> <li>作品全体を「帰郷」「回想」「再会」「離郷」の4場面に分け、さらに、人物や時間、場所を考えて「再会」「離郷」の各場面をそれぞれ二つに分けて6場面に分けている。</li> <li>魯迅の生涯を考えあわせて「故郷」の主題を予想している。</li> </ul>	<p>おおむね満足できる (B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提示された資料をもとに、当時の中国についてと魯迅の生涯についてまとめている。</li> <li>作品全体を「帰郷」「回想」「再会」「離郷」の4場面に分けている。</li> <li>「故郷」という言葉に注目して主題を予想している。</li> </ul>	<p>指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の年表に着目させる。</li> <li>言葉の意味を確認し、時間を表す言葉に着目させる。</li> <li>どこか印象に残ったかを書かせて、そこから主題を考えさせる。</li> </ul>

<p><b>読む能力</b></p> <p>①作品を通読し、内容を整理して構造をとらえる。</p> <p>②風景や人物の描写に着目して読み、登場人物の変容や生き方、その背景にある社会状況をとらえる。</p> <p>③作品の主題や作者魯迅の思いをとらえ、社会のあり方や人間の生き方について考えを深める。</p> <p><b>言語についての知識・理解・技能</b></p> <p>①情景や人物描写、比喩表現等の優れた表現の効果についての理解を深める。</p>	<p>おもな登場人物の変容や生き方、それらの背景にある社会状況をとらえる場面 (発言・ノート)</p>	<p>読② 「ルトウ」に象徴される美しい故郷と現実の故郷との落差を風景や人物の描写に着目して読み取る。 (2時間目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰郷した時の故郷の風景描写の具体的に5箇所以上を指摘でき、「わびしい」という言葉でまとめている。</li> <li>回想の中の「ルトウ」が「わたし」にとって憧れの存在であることを「神秘的宝庫」「小英雄」などの言葉をもとに読み取り、それが「美しい故郷」のイメージにつながっていることを読みとっている。</li> <li>記憶の中の故郷と現実の姿の落差を色彩からも指摘でき、現実には失望している「わたし」の心情を読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰郷した時の故郷の風景描写を3箇所指摘でき、「さびしい」という言葉でまとめている。</li> <li>ルトウとの思い出が「わたし」にとってとても楽しいものであり、それが「美しい故郷」のイメージにつながっていることを読み取っている。</li> <li>記憶の中の故郷と現実の姿の落差に気づき、現実には失望している「わたし」の心情を読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風景描写を具体例をあげて考えさせる。</li> <li>ルトウとの思い出話を整理させ、前時の「わたし」の気持ちと比較させる。</li> <li>「わたし」の気持ちの比較から、「がっかりした」という言葉を引き出す。</li> </ul>
		<p>読② 「ヤンおばさん」と「ルトウ」の変容をとらえ、その背景にある社会状況を読み取る。</p> <p>読② 懐かしい「ルトウ」との再会を果たしたときの「わたし」の心情を読み取る。 (3時間目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヤンおばさん」と「ルトウ」のそれぞれの過去と現在の様子をワークシートにまとめ、変容をもたらした原因や理由として、本文中の言葉だけでなく、当時の中国の社会状況を結びつけて考えている。</li> <li>「ルトウ」に「だんな様！」と言われたときの衝撃の大きさと嫌悪感を想像し、「悲しむべき厚い壁」とは何かを積極的に読み取っている。</li> <li>現在の「ルトウ」が感情を表すことのできない、へつらう人間であることに気づき、その「ルトウ」に失望を深め、絶望していく「わたし」心情を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヤンおばさん」と「ルトウ」のそれぞれの過去と現在の様子をワークシートにまとめ、その変容の原因や理由を本文中の言葉から読み取っている。</li> <li>「ルトウ」に「だんな様！」と言われたとき衝撃を想像し、「悲しむべき厚い壁」とは何かを読み取っている。</li> <li>現在の「ルトウ」が「でくのぼうみみたいな人間」であることを読み取り、その「ルトウ」に失望感を深める「わたし」の心情を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの項目に沿って、書かれている部分を見つけさせる。</li> <li>「よってたかって…」の部分のヒントにさせる。</li> <li>回想の中の二人の関係を想起させる。</li> <li>ルトウの変わりようと「悲しむべき」「口がきけない」を手がかりにさせる。</li> </ul>
	<p>主題をとらえ、まとめる場面 (ノート)</p>	<p>読③ 「新しい生活」「手製の偶像」「希望」の内容や意味を考え、主題をとらえる。 (4時間目/本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい生活」を考えるきっかけをとらえ、その内容を「感情を表に出せない」「勝手気まま」などの言葉を用いて具体的にとらえている。</li> <li>「手製の偶像」「手に入りにくい」などの表現から、「ルトウ」と「わたし」の共通点に気づき、自嘲する「わたし」に気づく。</li> <li>「希望」を目指して歩く人が多くなることを願う魯迅の思いをとらえて、「進んで行動する」「リーダーとなって新しい社会をつくる」など実際に一歩を踏み出すのだという内容をいれて、主題をまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい生活」を考えるきっかけをとらえ、その内容をイメージしている。</li> <li>「手製の偶像」「手に入りにくい」などの表現から、「ルトウ」と「わたし」の共通点に気づいている。</li> <li>「希望」と表現されている意味を考えて、「同じ考えをもつ」「一緒に行動する」など連帯する内容を入れて、作品の主題をまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わたしのよう」などのワークシートの言葉を手がかりにさせる。</li> <li>話し合いの内容をできるだけ多くメモさせる。</li> <li>話し合いのメモとキーワードを組み合わせて考えさせる。</li> </ul>